

## 1. 投稿について

- ・「実践人間学」への投稿は随時、受け付ける。
- ・投稿に際し、6,000 円の投稿料を納入する。
- ・論文が採択された場合は別途、4,000 円の掲載料を納入する。

振り込み先：

- ・採択された論文は、同ホームページ上で公開する。
- ・投稿は下記メールアドレス宛に「論文の投稿」という題目で、原稿を添付したメールを送信する。

提出先

E-mail : jissen-kenkyu@gmail.com

## 2. ページのレイアウトについて

### (1) タイトルおよび本文

- ・A4 用紙の余白上下 25cm、左右 20cm とする。
- ・1 行目に論文の種類（「原著論文」「資料」など）を 10.5 ポイントで、左寄せで配置する。
- ・論文の種類は、その上と下を太さ 1.5p の実線で挟む。
- ・タイトルは 3 行目以降に、中央寄せで配置する。
- ・タイトルは、主題については 16 ポイント、副題については 10.5 ポイントとする。
- ・所属と氏名はタイトル（主題及び副題）から 1 行空けて、右寄せで配置する。
- ・所属は 10.5 ポイントとし、氏名は 11 ポイントで所属から 1 文字分空けて記す。  
氏名は 5 字の均等割り付けとする。
- ・本文は、所属及び氏名から 1 行空けて配置する。
- ・本文の文字の大きさは 10.5 ポイントとする。
- ・本文は 2 段組みにし、1 ページの 1 段につき 21 字×40 行とする。
- ・本文中の「はじめに」「方法」「結果」「考察」「まとめ」「文献」等の小項目については、上に 1 行空けて配置する。
- ・本文中に示される統計値については、行替えて値が割れないように配置する。
- ・文献には、番号や中黒点をつけない。文献が 2 行以上にわたる場合は 2 行目以降を 1 字下げする。
- ・英語文献は、字間が空きすぎないように調節する。

※同じように書式設定しても、行間等が統一されない場合があることに注意！！

### (2) 図表の配置

- ・図表は、1 ページの上もしくは下に配置することとする。
- ・図表タイトルの文字の大きさは 10.5 ポイントとする。
- ・表タイトルは表の上に中央配置、図タイトルは図の下に中央配置にする。

### (3) ヘッダーおよびフッターの設定

- ・ヘッダーの位置は 14mm、フッターは 12mm とする。

- ・ヘッダーは、先頭ページ、偶数ページ、奇数ページを別に設定する。
- ・ヘッダーの先頭ページには 9 ポイントの大きさの文字を用い、右寄せで 1 行目に実践人間学(号数)を記し、2 行目に論文の始まりと終わりのページ番号と発行年を記す。
- ・ヘッダーの偶数ページには 9 ポイントの大きさの文字を用い、中央配置で著者名を中黒点で結んで記す。
- ・ヘッダーの奇数ページには 9 ポイントの大きさの文字を用い、中央配置で論文の主題を記す。副題は記さない。
- ・フッターにはページ番号を 10.5 ポイントの大きさの文字を用い、中央配置で記す。

### 3. 使用する文字のタイプ

- ・本文に小項目をつける場合は、「はじめに」「方法」「結果」等については I. II. III. …を用いる。これ以降は、1. 2. 3. …、(1) (2) (3) …、①、②、③…の順に用いることを原則とする。
- ・I. II. III. …および文献、1. 2. 3. …の項目名はゴシック体とする。
- ・文字はタイトル、所属、氏名、本文のいずれも明朝体を用いる。また、数字や本文中のアルファベット、英文抄録は半角で表示し、century を用いる。
- ・本文中に示される統計の手法及び統計値は、斜字を用いる  
例)  $\chi^2$  検定, Fisher, *t* 検定,  $p < 0.01$
- ・図表タイトルは明朝体を用いる。図表の中身については特に規定を設けない。
- ・英文抄録のタイトルは、助詞等を除いて語句の 1 字目のみ大文字とする。本文の段落の最初は全角で 1 字下げする。

### 4. 書式の設定

#### (1) 本文

- ・本文において文献を引用する場合は、初出のみ著者全員の苗字を中黒点でつなぐ。2 回目以降の引用の場合、著者 2 名までは初出時と同様に書き、著者 3 名以上は筆頭著者の苗字のみを記してその後に「ら」をつける。

例) 初出の場合：西館・西館・西伊達 (2010) によると…。

例) 初出の場合；～とされている (西館・西館・西伊達, 2010)。

例) 再出の場合：西館ら (2010) によると…。

※編集の過程で、段落替えをしている箇所の 1 字下げ設定が解除される等のことが起こるので、段落替えの箇所が正しいか、1 字下げになっているかを確認する。

#### (2) 図表の書き方

- ・表タイトルは表の上に、図タイトルは図の下につける。図表番号は半角英数字を用い、番号の次に全角ドット「.」を打ち、タイトルを記す。
- ・図表は頁の一番上か、一番下に配置されるようにする。
- ・図表はタイトルを含めて中央配置とする。

※著者から提出された図表が不鮮明である場合は、再提出を依頼すること。

#### (3) 文献の書き方

- ・文頭には、何も（中黒点も番号も）つけない。
- ・文献が2行以上にわたる場合は、2行目以降を1字下げする。
- ・英文の文献について、雑誌引用においては雑誌名を、図書引用においては図書タイトルを斜字（イタリック体）にする。

<雑誌の場合>

著者名（発行年）論文タイトル，雑誌名，巻号，頁数.

例) 理解四太郎 (2013) もうケアレスミスをしなさい, 日本ノーミス学会誌, 4(3), 1-10.

└─ゴチック体に

<図書の場合>

〇〇・△△編著（発行年）『本のタイトル』，出版社.

著者名

著者名（発行年）引用した章や項などのタイトル，〇〇・△△編著『本のタイトル』，出版社，頁数.

※翻訳本の場合は、原本の情報を掲載し、その後に（ ）書きで翻訳本の情報を載せてください。

例) TOKUDA, K. (2012). *My Best Drama in Korea*, New York: Love Drama.

(TOKUDA, K., 水野智美 (訳) (2013) 『私が最も愛する韓国ドラマ』, 文化書房博文社)

<インターネットからの引用の場合>

文部科学省 (2013) ページのタイトル, 文部科学省, <http://www.....>, (閲覧日〇年〇月〇日).